

政務活動費収支報告書

八尾市議会議長

竹田 孝吏 様

議員名又は会派名とその代表者名

田中慎二

条例第13条第1項の規定により、令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入

項 目	金 額
政 務 活 動 費	560,000 ✓

2 支出

項 目	金 額
調 査 研 究 ・ 研 修 費	109,124
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	
資 料 作 成 費	
資 料 購 入 費	
広 報 費	
広 聴 費	
日 常 活 動 費	
人 件 費	
事 務 所 費	
事 務 費	
合 計	109,124 ✓

3 収入支出差引残額（返還額）

450,876円

注）支出が収入を上回る場合は、残額欄には0円と記載のこと。

様式第17号（第9条関係）

政務活動費における活動報告書

令和7年度の政務活動の内容は、収支報告書のとおりであります。そのうち、主要な政務活動内容の概要については、別紙のとおりでありますので条例第14条第1項及び条例施行規程第9条第1項の規定に基づき簡潔に報告いたします。

議員名又は会派名とその代表者名

田中慎二

別紙

※報告書は、A4の原稿用紙3枚以内（会派にあつては、所属議員数に3を乗じた枚数以内）で作成してください。

政務活動費支出対象活動報告書（総括）

八尾市議会議員 田中 慎二

1 はじめに

本年度においては、人口減少や行政需要の高度化が進む中、持続可能な行政運営の確立に向け、先進自治体の取組調査および専門的知見の習得を目的として、視察及び研修を実施した。自治体 DX、働き方改革、文化財活用、地方財政運営等について調査・研究を行い、本市の課題解決および政策提言に資する知見の獲得に努めた。

2 主な活動内容

（1）自治体 DX・スマートシティに関する調査（呉市視察）

呉市では BPR を前提とした DX が推進され、約 4,000 業務の見直しや AI・RPA 等の活用により業務削減効果を実現している。「書かない窓口」等の取組は、市民サービス向上と職員負担軽減を両立するものであり、本市においても参考となる。

（2）文化財活用・観光振興に関する調査（入船山記念館視察）

歴史的建造物を展示空間として活用する手法により、保存と活用の両立が図られていた。寺内町等の活用においても有効な示唆を得た。

（3）働き方改革に関する調査（大分市視察）

長時間勤務の是正、業務効率化、職場環境整備を一体的に推進しており、組織的取組の重要性を再認識した。

（4）DX 推進・生成 AI 活用に関する調査（大分県庁視察）

ICT および生成 AI を活用した業務改革が進められ、トップダウンによる全庁展開や人材育成の取組が参考となる。

（5）地方財政・行政経営に関する研修

未利用資産の活用や PPP 導入、コスト可視化等、財政運営の高度化に向けた実務的手法について理解を深めた。

3 総括

行政運営においては、個別施策ではなく業務改革と一体的に進めることが不可欠である。人口減少下では持続可能な行政運営の視点が重要であり、新たな手法の導入が求められる。また、地域資源は活用による価値創出の視点が重要である。

4 今後の活用

DX の KPI 設定、働き方改革と人材確保の一体検討、PPP 導入、未利用資産活用等を進め、議会活動を通じ政策提言につなげていく。